

廣福寺だより

平成26年6月



なむの大地に生きる私たち

初夏を思わせる晴天に恵まれ、五月二十九日、総勢三十六名で日帰りの旅に出かけて来ました。長岡市の県立歴史博物館の「親鸞となむの大地」展は、親鸞聖人七百五十回御遠忌を記念して、県内外の聖人ゆかりの法宝物が集められた特別展でした。「なむの大地」という言葉に、私たちは二つの意味を味わっています。

一つには御流罪の地で、親鸞聖人がお念仏の教えをきびしく深められた越後の「なむの大地」という意味。もう一つは私たち真宗門徒の先祖が、はるか戦国の戦乱の時代から江戸時代にかけて、北陸・信州から入植し、お念仏をよりどころとして氾濫する河川と戦いながら越後の美田をつくりあげた「なむの大地」という意味です。今一カカ寺を超える県内の浄土真宗寺院は、そのときの祖先が拠った念仏道場の歴史を今に伝えます。博物館では、聖人の筆跡、御影、恵信尼文書をはじめとして、たくさんすばらしい展示物が集まっていました。「もう一度、ゆつくりと拝観したい」という声もお聞きました。

その後は月潟の梵行寺様にお参り致しました。(写真) 毎月の聞法会、女性講のご講師として木村俊尚師において頂いております。昨年の落慶法要、御遠忌のビデオを見せて頂きました。素晴らしい堂宇で、生き生きとしたお念仏の教えが現在進行形で伝えられています。

瑞雪楼でのおいしい昼食の後は、笹川邸で曾我量深師の遺徳を尋ねました。最後の北方文化博物館、伊藤邸では「句佛上人と伊藤家の人々」展が開かれています。特別にお内仏をお参りさせて頂きました。「なむの大地」越後のお念仏の歴史を確かめる一日となりました。

「親鸞となむの大地」展

〜親鸞聖人を偲んで日帰りの旅〜

◆楽しく三十六名でバスの旅◆

○笹川邸

○曾我平澤記念館



○瑞雪楼



○北方文化博物館

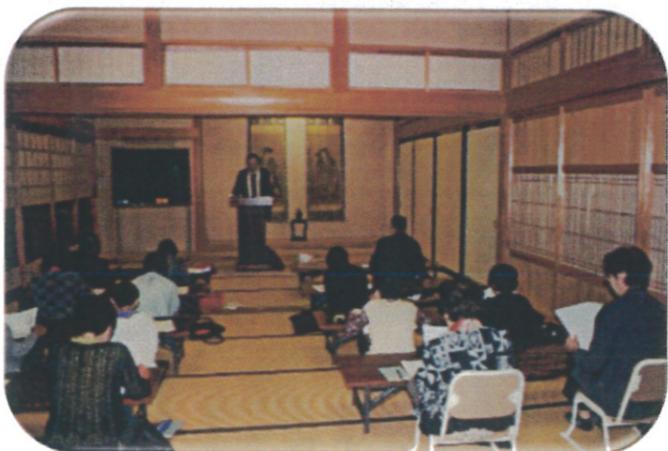


聞法会 (もんぼうかい) の活動

住職によるお経の練習(三十分)、梵行寺様住職による阿弥陀経講座(一時間)を行っています。

七月と十二月には楽しい懇親会で親睦を深めています。いつでも入会できます。御門徒以外の方にも自由に参加頂いております。

毎月開催です(一月二月八月を除く)。お待ちしております！



世話方・地区総代の方々

役職名	責任役員	世話方	地区総代
地区	地区	地区	地区
氏名	大谷 統司	燕市	地区
	木村三千雄	麓一区	麓一区
	武石 金衛	麓二区	麓二区
	近山富士弥	麓二区	麓二区
	山岸 哲也	麓二区	麓二区
	堀内 拓	麓二区	麓二区
	平岡 清夫	麓二区	麓二区
	丸山 正己	観音寺	観音寺
	武石 建夫	村山・境江	村山・境江
	松居 吾一	山岸・山崎	山岸・山崎
	渡辺 忠	矢作・荻野	矢作・荻野
	武石 稔	弥彦	弥彦
	戸叶 精一	走出	走出
	浅田 淳	上泉・金池	上泉・金池
	松井 辰義	長崎	長崎
	竹ノ内泰次	辰ノ口	辰ノ口
	八子 和之	幕島・京ヶ入	幕島・京ヶ入
	加藤與志明	本町・和納	本町・和納

平成二十六年度はこの方々にご尽力頂いております。敬称は略させて頂きました。

「南無阿弥陀仏は浄土真宗なり」

「かろんくしよろう」「はくい」

毎朝の勤行の開始の合図。喚鐘の掛け声とともに中央仏教学院の一日が始まります。本科生百五十六名、研究科生五十二名による南無阿弥陀仏のお念仏の声は圧倒的な響きと荘厳な美しさをもって講堂を包みます。正信偈、法話、恩徳讃、先生による法話の講評を合わせると約一時間に及びます。足がしびれて立てない人もちらほらと。

勤行が終われば授業の開始です。

真宗史、教行信証講座、声明、華道など、基礎的な学問分野から、実際の作法の練習、お経の練習、仏花の生け方の授業など多岐に渡ります。

私の在籍している本科三組は、担任

の先生から「元気がありすぎる」と

言われるほど賑やかで楽しいクラス

です。十八歳から六十三歳まで、お

寺の息子さんもお嬢さんもお

り、定年後に真宗を学ぼうと入学さ

れた方もいます。授業が終わった放

課後には各種愛好会の活動がありま

す。私は野球と華道愛好会に所属して

おります。愛好会活動の他に、習礼(しゅらい)と呼ばれる作法の練習があります。中央仏教



当院の京都便り、御門徒の皆様へ

広福寺当院 柏原 貴也



学院の朝の勤行は、通学生による当番班で内陣出勤を行います。約二週間に一回その当番が回ってきますので、前日には班で集まり、練習をするわけです。その当番班の中で喚鐘係、お経の第一声を発する係、法話担当、オルガン担当などが必ず一回当たります。かくいう私も来月に法話の担当が回ってきますので、今この原稿を書きながら、あれこれ考えながら法話作りをしています。時には真面目な話をしてみたり、時には冗談を言い合ったりしながら、日々の学生生活を楽しく過ごさせていただいております。また、私は現在、本山仏光寺の学生会に在っておりますが、そこには渋谷会(しぶたにかい)と呼ばれる学生会があります。京都並びに近郊で学んでいる仏光寺派の学生会であり、本山での児童大会のお手伝いや報恩講での劇の発表などといった活動をしております。

この一年間でどれだけ多くのものを学べるか、様々な年代の人々との出会いの中でどれだけ自分自身が変わっていくのか、限られた時間の中でより多くのものに触れ、学び、出会い、浄土真宗の僧侶としてお念仏のみ教えをより一層深く学んでいきたいと思っております。

ちなみに新潟のごはんがおいしくて昨年一年間で十キロ体重が増えましたが自転車通学で早速やめました。新潟のご飯がなつかしいです。六月の法要と夏休みには新潟に帰ってきますので、またお会いできるのを楽しみにしております。

平成25年度当寺勸金決算書

<収入の部>

科目	予算額	決算額	比較
勸金	2,600,000	2,589,000	△11,000
雑収入	5,000	25,920	20,920
繰越金	189,393	189,393	0
計	2,794,393	2,804,313	9,920

(雑収入内訳 預金利息 330 還付金 25,590)

<支出の部>

科目	金額	内訳
1. 寺務経常費	2,637,948	
(1) 負担金等	912,410	本山護持金 教区費 ともしび代 光寿堂維持管理費 本山御仏供米料前々門主御葬儀御香料
(2) 事務通信費	319,995	コピーリース代 コピー印刷費 メール便 寺用封筒
(3) 会議費	59,850	世話方総代会議
(4) 教化費	431,990	本山御使僧様法礼 報恩講・女性講法礼 聞法会補助 当院得度、寺格継承冥加金 カレンダー代 経本
(5) 営繕管理費	881,503	火災共済 香 消防設備保守点検 電気代 灯油代 井戸ポンプ取替 庭木伐採・剪定・冬囲い・防除 雨樋修理
(6) 門徒交際費	32,200	新門徒御本尊
2. 積立金	0	
計	2,637,948	

総収入 - 総支出 = 166,365 (次年度へ繰り越し)

平成26年度当寺勸金予算書

<収入の部>

科目	予算額
勸金	2,580,000
雑収入	5,000
繰越金	166,365
計	2,751,365

<支出の部>

科目	予算額
寺務経常費	2,500,000
積立金	100,000
予備費	151,365
計	2,751,365

九十歳・百歳のお祝い

数え年または満で九十歳・百歳になられた方に、本山から「祝詞」と記念の「木杯」が贈られます。いつでも広福寺へご連絡下さい。

お願い

○一万元の広福寺勸金

一戸あたり一万元の勸金とさせて頂いております。本山・教区の負担金、寺の教化費、事務、管理、営繕費等になります。

○二千元の広福寺墓地管理費

広福寺に墓地がある方です。勸金と同時に納入していただける方はよろしくお祝いいたします。

○来年度以降の勸金の増額について

今年二月に行われた世話方総代会議において、来年度から勸金を一万二千元にさせて頂くことになりました。増額分は主にこれから広福寺で計画されます親鸞聖人七百五十回忌法要の費用と、本堂等の営繕費として積み立てして参ります。よろしくお祝いいたします。

お浄土の奥様へ

麓一区 鈴木テルさん



思い出しますと、奥様とはじめてお会い致しましたのは、交通安全母の会役員会のおきのようなです。弥彦村にこんなすてきな方がいらつしやつたのかしらと驚いたこと、いろいろ良い思い出が沢山あります。聡明にて容姿端麗、温和で優しさにあふれ親しみを感じました。お寺の奥様にもっとも相応しいお人柄でございました。ご住職様と本当にお似合いのご夫婦でいらつしやいましたね。

早速母の会総会のおきに総合司会を務めていただきました。歯切れがとてもなく、スムーズに進行していただき盛会裏に終了したこと等が脳裏に焼き付いております。交通安全母の会は女性の各種団体役員で組織されています。(老人会女性部、JA女性部、小中学校、保育園保護者) 奥様は保育園保護者代表だったと思います。以前から私は会長を引退したいと思つていたので、早速バトタッチをお願いしましたがなかなかご承知いただけなかったのです。平成十二年三月頃、広福寺様へ出向きまして真剣にお願い致しましたところ、四月から燕中学校へご勤務なさるとのこと、とても残念でなりません

でしたが、奥様が教壇にお立ちになることにより大勢の子供達を立派に成長させ、幸せな人生へと導きなされたことだろうとお察し致します。お寺様の行事、三人のお子様の育児、家事、教員としての職務、実家のご両親のお世話等何足ものワラジをお履きになられ、お疲れのご様子も見せず大活躍なさつてらつしやいました。

平成七年頃から寺の聞法会に参加させて頂きお世話になりました。ユーモアのあるお母上様と優しい奥様から美味しいお茶のご接待、御住職様もとても優しい眼差しで私達と雑談なさつて、御一家様の温かみのある素晴らしい御家庭の雰囲気にお茶が癒されました。療養中でも退院されているときは、お変わりのないご接待でございました。そのときのお姿が昨日のように思い出されます。お浄土へ帰られたとは今でも信じられなく、現在も病院にいらつしやるような錯覚を起こします。

ご回復なさることを信じておりましたところ、突然なる訃報に接し、他人事とは思われない悲痛でした(娘より一歳上です)。三人のお嬢様もご立派にご成長なさりお母上様そっくり(同性でもホレボレ、私の三人娘と取りかえたいです)。上のお二人のお嬢様はそれぞれ立派なお方とご結婚、次女さんのお孫様の御誕生とおめでとございました。お嬢様の花嫁姿とお孫様を拝見するまではと、ご療養に頑張られたのでしようね。本当残念でなりません。御生存中は色々ありがとうございました。恩返しも出来ませんで申し訳ありませんでした。

奥様は聞法会のおときはいつも私達の側にいらつしやると思つております。



6月の行事予定

永代経法要

六日(金)

▼午前十時勤行

法話

正午

おとき



法中講

二十三日(月)

▼午前十時勤行

法話四席

正午 今年

ちらし寿司

が出ます

午後一時勤行

法話二席

法中(ほつちゆう)は寺の隣
組的な組織です。
共に研鑽を積み、助け合
います。浜組法中と呼ばれる
七ヶ寺の組です。

皆様どうぞお参り下さい
「門徒式章」をご着用下さい

広福寺法事

二十九日(日)

第十六世坊守みゆき三回忌法要
第十五世住職釋惠信十七回忌法要
第十四世住職釋惠応三十三回忌法要

▼午前十時勤行

法話

正午

おとき

ご出席いただける方は
六月十五日までに
世話方・総代または広福寺へ
ご連絡ください。

花びらは散っても
花は散らない
形は滅びても
人は死なぬ

*金子大樂師のことば

